的に和

西安一帯の数の長器を鹵獲した

敵部隊に

の日〈

交へこれを完全に掃蕩した、本様李家 附近に於て激戦を

網乘京森田製遊

李家敦の

安慶西南方で

注撃は南海の島に、猛突爆 の空に、二月戦線の=

中小商工金融

輕便迅速

乘省實業株式會社 [[在所 领京特别市大同大街四〇六號

も、その皮はやがて剝がれ

その他多数の兵器

殘敵を掃蕩

機を敢行し、敵の一日發展が一十一日

異ははやい

海口の恢

治線での他左記の標準に は管内現下の状況に鑑さ は管内現下の状況に鑑さ

地により

旨ポイス

適川すり外

うめる?

獨特自慢

0

自製靴

9

製料店

SANKYD 共

の栽培を禁

作物)の植

し、瓊山市の更生を聞らんとす



育相は十三日下院の質問時間 が承認は最早時日の問題と見 られてゐたがチュムパレン英 られてゐたがチュムパレン英

ない行文のにんてフラ

英古

相下院で言明

してゐ

認

は

たけのイツ モ関を ス整柄イエ クに、ルエ

【○○艦上にて十四日發國通】第○艦隊報道部發表=十四日午前

[○○艦上にて十四日發國通]第○艦隊報道部午前十時卅分發表= 將兵一同元氣旺盛なり方面に向け東西に分進中なり天氣晴朗、暑氣未だ甚だしからず目下海軍陸戰隊は航空部隊及び艦艇協力の下に○○および○○

正式の海陽接げので、わが當



獨伊新通商 十三日發國通

マ上院が開催されてをり恐らく事護團の一味がこれを狙つ たものと見られてゐるが事件 の際は既に上院が散會した後

たものがあ れる場音を たる場音を

り警戒中の巡査一 1のであつたが顕然 かであつたが顕然

争諦團張番戰術で頑張

後大氏(營林署) 宿都 一氏(商業) 同 (電) (電火參事) 同

(1 也三氏(滿洲鑛山)國 河北二郎氏(會社員)同 阿里三男氏(同)同 阿里三男氏(同)同



五五〇〇

と表現では、 は、大楽にある敵の兵器 道撃砲の製造には力橋を入れた大楽にある敵の兵器 道撃砲の製造には力橋を入れてあたで、同所は てあた機様で迫撃砲、弾薬製 道撃砲の製造には力橋を入れてあた。と類明、特に である敵は十二日襲縣西 即耐してみたこと判明、特に

で対け各地の遊撃除その他に 連続してゐたこと判明、特に を対け各地の遊撃除その他に



ミン等から構成されてゐます……… タカデアスターゼが强力消化素で

ど總ての消化酵素を含有してゐる 上端にあります 後て胃腸虚弱に原 因する消化不良進んで祭養増進に - 30課 F. 10 -



協議を

そか年くし味薬を繋がるのも





: 4 四時四十五分 南部〇〇海岸に商前上陸を致行〇〇方面に前進中なり北方より南進せる陸軍部隊に策騰し陸戰隊は十四日未明海南島

も早く治安維持質の結成を期する旨中合せをなし代表者は直ちにわ 大佐、今田陸軍中佐が海關に 大佐、今田陸軍中佐が海關による接收 からは松平副領事、前田海軍 からは松平副領事、前田海軍 る機連が極頭しつ 然たる 今後平標に教務すべた、の管理・下に教務すべた、の管理・下に教務すべた、の管理・下に教務すべた、 ・十三日午後三時より市内各會の有力者二百名が市商に信頼し切つて續々歸還し自發的に治安維持會を結成 か軍當局を訪問指導を懇請した

(日 曜 水)

高中であるが、八、九、十の三 条要點奪取後引續き神果を擴 等要點奪取後引續き神果を擴 南宫、 掃匪の戦果 冀縣附近

地方裁判所廳舎に爆弾を投げ十三日午後一時半ラングーン

か市内に残って皇軍の入城を敷迎

通商協定がローマに於て調印 ・ 受渉を進めてゐたが、イタ ・ の間に新通商協定の締結につ ・ の間に新通商協定の締結につ れた旨正式に發表した

成立せる旨左の如く競表したス通信社は十三日ソヴイエトス通信社は十三日ソヴイエト 通商協定成立

キキメの連いが評判

頭痛

はきくと言ってドー

清氏 (間島工業) 同 十三日深天

| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| **
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| **
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| ***
| **

| ***
| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| **

| ** 本別監太郎氏(海新副社長) 一三日来京ヤマトホテル 一三日来京ヤマトホテル 「日来京ヤマトホテル

廢止を申出

不屆な吉林文光學校

ら同九時までの間に自宅前路市内東一條通二三原田榮之助市内東一條通二三原田榮之助

多拜

てゐた北京生れ他不詳の女中田行雄氏は二ヶ月廟より備つ市内蓬莱町一丁目十二番地和

女中に化け

T

天順〇天京林濱天京 A、〇七八 東石六 森泰單山口商部 第二次 新華正殿部 新華子 行 行號臣店會店

三三五 四四彩七一八三五七九四三二四 二八〇八二九八三七七三八五〇 四五十五五六四六七七四三九六 五四八五〇八六七七四三九六

三二、七〇五

ー四一 二三一四 七四八三六四八八二八 七三五八二六八二八 七三五八二六八二八 七三五八二十〇三八五一

七四八七六三六四二一

ニーー四 ニミー ニニ四四四ー三四二六、三、三、チ〇ナ、二〇九四一六一九九六七七三四六〇六七四二四五二五五五五五四六三二六〇五二九九五五四七八九〇六二三六一四九四二三七七七一七四七五六一九九八三八二二

四三三三 二四四一一二二四四一一一一六六七九六 四九一九九七 九三〇四九〇八二八一四六〇九六三三一四〇一二八六五〇五八〇六五九二一〇四九〇一二五六六二二〇三五〇〇四四六六七〇二〇〇四十二十二二二八七八五七九三三三〇四四六六七〇二〇〇

満鐡で、母の日、開催

第九五

回

(日曜水)

新京神社

2

9

(二)

特殊地域 八檢索

の温床虱潰

寬城子、

長通路署管下一帶の

軍川路、

個を始め、夫人の衣類等價格の留守中にクローム側時計二の留守中にクローム側時計二 | 一 走され、取押へ方を中央通響 | 上され、取押へ方を中央通響

建國節行事に

を完全に包國し、文字通りの水も洩らさぬ検索陣を形成を完全に包國し、文字通りの水も洩らさぬ検索陣を形成では鑄益現行犯五名、豚密殺一名、浮浪者一名、長通路署管内では豚密殺三名、水密殺一名、浮浪者一名、長通路署では電流大ものは網にかからなかつたが、國都の犯罪の温床を完全に清掃の目的を達して凱歌を舉げて午前十一時検索を打ち切り長通路、寬城子兩署に於いて引致者を嚴重垣調中である

大 漁主幣帛を奉りて拜 大 供進使記詞を奏す 大 供進使記詞を奏す 大 供進使記詞を奏りて拜 禮、隨負列拜 大 供進使記詞を奉りて拜禮 大 漁工事を奉りて拜禮 た 景列員工事を奉りて拜禮 た 景列員工事を奉りて拜 祭員幣帛神饌を撤す

七 ヒを密 賣する

を連行

四馬路々上を長通路署岡本、四馬路々上を長通路署岡本、の三十四、五才の内地人婦人を認め、その場で不審訊問を行ふとゝもに取調べると風呂を持つてゐるので署に連行を求め、追求したところ、この求め、追求したところ、城内東

童も總動員

各民族制

音樂會開催

通四一羅長運氏も十三日午後 中央通響にそれぞれ届け出収され中央通署へ、市内朝日 韓車一豪〈五十圓〉を窃 間に自宅前に置いてあつた上に無旋錠のまゝ置いてあつ 八時から同八時三十分まで上に無旋錠のまゝ置いてあつ 八時から同八時三十分まで

がまでのかまでの

婦人は岡山縣久米郡生れ、求め、道才した。

内東二條通 内東二條通 日を側らず してゐるが してゐるが 別した關子 別した關子 に近一八)で 成九月に此力 が、蘭子の夫は某官 でで、保官を手古摺らず、保官を手古摺ら 務の官吏大川健二 た、かものであるが、風呂敷 包のモヒは質りに歩いてゐた 模様で、この出所を追求する 上脊後にはモヒ密製造等或は 意外な大ものが潜んでゐるの でほないかと、頑强に口をつ むく闌子を嚴重取調べ中であ



整調

ら二十一日まで四日間であるがその間に於ける中央郵政局がその間に於ける中央郵政局の事務取扱は日曜祭日並に午後三時まで為替貯金其他現金をは通常郵便は日曜祭日並に午後三時まで為著貯金其他現金をは近常がある。



本字に任用令實施最初の現職者 高等文官各種試験は七日から 高等文官各種試験は七日から 高等官試補適格考試を行ひ十 四日から三日間は選任官(二號表) 高等官試補適格考試を行ひ十 四日から三日間の豫定で甲種 一二月下旬人物考査を行つてゐ るがこの總受験者數は卅名で 一二月下旬人物考査を行つた上 三月初旬合格者設表の豫定で 一二月下旬人物考査を行つた上 中の郵政局

ます

入浴中盗まれる 市内老松町一の一足達司郎氏 (二一)は十三百午後八時十分から同九時までの間に老松 町壽湯に入浴中、脱灰してあ つた協和服上衣一着とその服 を中と、十五圓在中二つの財 在中と、十五圓在中二つの財 を何者かに持ち逃げされ慄

月後にひそむ謎

を偲ぶ會

杉浦薫剛先生を偲ぶ會は十三 管理事、村上中銀海外係主任 主催で中銀クラブに開催され 門下生二十数名参集種々回舊 涅槃會は十五日

時の誤りにつき訂正中の誤りにつき訂正中とあったは十五日午後二十四日中後二十四日午後二十四日午後二十四日中後二十四日中後二十四日附朝刊市内曙町浄土宗

松島大使館朝鮮京城府線務課長より駐繭大使館朝鮮課長に榮轉した松島ៈ
氏は十六日午前十一時四十二
分新京着のぞみで着任の豫定である 理事官東上 松村駐西公使館

二階洋服賣場

新京特別市

決言渡

松

田

言ひ渡された (宮眞 で水刑二年 (水刑二年) 松田は したもので、旭爪は (水刑二年) 松田は したもので、旭爪は (水刑二年) 松田は 淋病肋膜 電話②四四八〇番

經濟部瀆職事件第二回公判

四年十一月 数五年九月

行の普通銀行を打つて一丸と全を期すべく最に図内四十数 せしむべく日本經濟視察團を 日本の産業經濟の動向を認識 の動向を認識 **組織して三月末より約**

十回に亘り經濟部

満拓公社では十三日夜水 満拓公社では十三日夜水 育館に東京新聞通信社幹部

滿洲中央銀

日本

不を視察 行では蔣洲國の新

青少年の孤獨生活に

地方銀行業者

あ す(十五日)

主なる放送

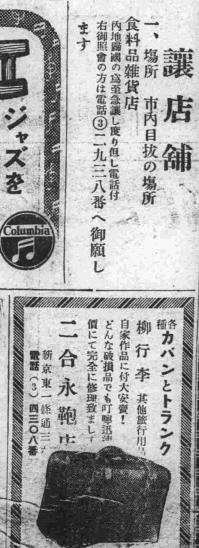
本も・三〇國民歌語「振へ日本國民」(東京)本八・〇〇 歌謡曲(新京) 細井男外本八・ 四〇青年の時間「現下の日本 財政」(京和)汐見三郎本九 一〇常磐津「釣女」(大連) 本テル午後二時 於ヤマ

にて孤獨生活にすさ

DCBA 地、出揃ひ獨自の裁斷加工に依る定評地、出揃ひ獨自の裁斷加工に依る定評興亞の春に相應しい國策順應の新製生 を賜 トげ 豫 ます 約 b 八七五五 て居り 賣 出 ます L 0 CBA 特 何卒御下命の程希 别 奉 七六五四 ンク 仕値 五八五八

ジャズを 語るなら! ★黒と黄褐色の幻想 イン・ア・ジャム 野川氏解説書附 操作を集めた 保作盤を集めた L ż 代時アビムロコはド





H 4 ませらミナカイでは古典味な内裏雛時で参りました、桃の花、緋毛氈、白酒等の は した、桃の花、緋毛氈、白酒等 局に因むお人形お道具類等豐富に出揃 いましたどうぞ御來店を い等

に赴日1日本側金融圏× 一名づつの指導員引率の war は 歌行協會日本經濟視祭團は 歌行協會日本經濟視祭團は 歌行協會日本經濟視祭團は 歌行協會日本經濟視祭團は 歌行協會日本經濟視祭團は 歌行協會日本經濟視祭團は 歌行場會日本經濟視祭團は 歌行場會日本經濟視祭團は 歌行場會

高等官 登龍門

~ 0

び鑵をも企圖しそのd 協和戶本年 度の 成果は

適格考試始る

工作方針

正義日本を讃

痛快無比

曾

殺陣に次ぐ

感

金

自

4

歌の捷大軍皇

機島高女の雪樂會は十五日午 は次の通りで五年生演田洋子 さんの開會の辭に始まつて全 さんの開會の辭に始まつて全 さんの開會の辭に始まつて全 さんの開會の辭に始まつて全 がプログラム中第一部滿洲歌 がプログラム中第一部滿洲歌

中東資映書乘出す に女か東四はムの

モリごーッ・ネ六代品、「佐品」、 ・とテオフ・日見、「佐品」、 主ボー・1オアま信坂永分 東道・佛ミルルリで子東遠利

笠三德高佐

智光寺枝利

観光の祭アタスきなり極麗華

主信直太

演子江郎

なんで語らなかつたが某常設 質は語る アトラクションと云ふもの アトラクションと云ふもの はプロルカーさへなければ でやつて見れし、それに隣 になるでせらから常設館側 になるでせらから常設館側 としては異存がある筈がある がある筈がある がある筈がある 電十四日よりの番組は左

最近大連、率天、新京、哈爾 大辺濫し、中には悪ブローカ が氾濫し、中には悪ブローカ が氾濫し、中には悪ブローカ でなた後も内地に歸ることも出 が氾濫し、中には悪ブローカ でなために各常設館が歌る法 をのために各常設館が歌る法 をのために各常設館が歌る法 をのために各常設館が歌る法 をのために各常設館が歌る法 でなために各常設館が歌る法 でなために各常設館が歌る法 でなために各常設館が歌る法 でなたが、講 がしてあたが、講 がしておかったが、講 では口をつ ないたが、ま常設

聖林の 反對スを 3

新興東京の新星 地のぼる 「興重8人娘」の入社で俄然 活況を呈してゐる新興東京で は、尙も新スタアハンティグ は、尙も新スタアハンティグ は、尙も新スタアハンティグ の手を緩めず逸材愛見に努め てゐるが、その結果、又一人 本年度遺出しの可能性を充分 に期待しちる新人旭のぼるへ 世才ンを發見「興重8人娘」 を解析に賣出すこと、強力性と を験に強ごさと、強力性と を験にのぼるへ の様に就どさと、強力性と をを験になる。

上自金杉平恒 美字新 記 田妙澤山井山 鳩佐田 美 岐〈 玄美 寛子子子子 り 淳寅

・ 郎太新條南 ・ 千妙浦帆 ・ 子東八井雲・ 下塚 ・ 子東八井雲 「 下塚 ・ 子東八井雲 「 下塚 ・ 子東八井雲 「 下塚 ・ ファ ・ 一 で 別の正

銀座杯乙

園庭の本日スーユニ化文

* 作快京東 •

山上再明日山区即

「燥めく星座」配役 を競表した加藤式雄原作「燥めく星座第一回作品として映畵化を競表した加藤式雄原作「燥めく星座」は、畑本秋一、小めく星座」は、畑本秋一、小めく星座」は、畑本秋一、小の大豆所が一、大田東男の共同脚本脱稿し、意味三月シーズンのトップに贈る陽春絢爛鶯として直ちにクランクを開始することへなつて、特異のローカルカラーの裡に人生の明暗種々相を描さ出すもので、曾根監督も本と出すもので、曾根監督も本

D

ラクショ

島高女音樂

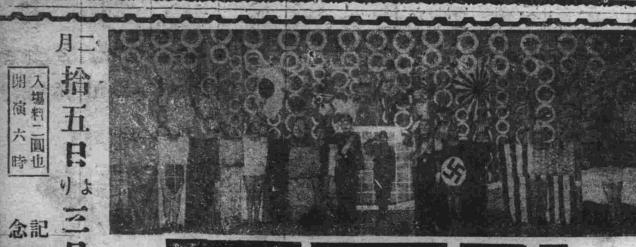
の朝の風景滿員の御不澤野ひが御安心あれ、これは整の家 事騒ぎか氣狂病院イーヤンだ た返し、さて何事ぞまるで火 かちやんと魔下はまるでど かちやんと魔下はまるでど かちやんと魔下はまるで火 かちやんと魔ではまるでごつ かちやんと魔ではまるでごつ かちやんと魔ではまるでで かちやんと魔ではまるででした。 なるれ、これは整の家

学短 原警戒

時の有利に牽 るべく親密吉 達を見るべし 廻くるは不利なを起すに及 取困難すべし



演主義郎三妻東阪 の見必性女全 かきべす理處を題問婚結ひ聞てしに何如は性女き若の下時戦 體小香衣編雜楠島尾前葉加大大久阪磯藤志尾香湖市原河 澤藤柱笠井造 田上山山縣倉闕 東川川 上川川川 部 佐 松寺寰 富 多 米國 三村 路小 解眞代暮之八三照蝶靜之弘一一 太勝之 華良三文健五 子弓子子助郎郎夫幸ノ輔郎郎公譲郎彦祐裔文介郎治作郎 版新 談政因大 ^{出特} 郎太國村澤 ベンメ 華豪の川摩多全とビンコ快明の來以進前きなり限 續引に部一第の評好御 !マラドロメ大激感員動總 !映上舉一·部二第·部一第內愈 營監 久政原春 演主 雄禮宇川江 • 子起夕轟 作原忘イ林 高林坂 篇前部一第リ忘稲 篇後部二第する 最後部二第する 最も 督監浩垣稻





が達女彼にり振年三覺感の春新な快爽な醇豐!!る贈に樣皆がKS日スミ ……うせませま込捲に渦の奮昻を覺視の樣皆てえ湛っぱついを夢と惑魅

THE TOTAL PROPERTY OF THE PARTY OF THE PARTY

いし怖。もりよ歯シムは防。豫の漏。膿。槽。歯

賣發錬本磨鹵ンオイラ

屋古名。阪 大。京 東

3

柄が骨製で、曲つたり、

煙つたりしない事。

隅々まで清掃出來る事。

THE REPORT OF THE PARTY OF THE

類種の子刷慮ンオイラ

- 幼稚園兒间

他に義歯用あり

一二、二酸何

 Ξ

毛の植ゑ方が歯列に合致

してゐるから、歯と齦の

永もちする事。

毛の質が断然純良で、

活

ます

监

幽

から

協刷子で

◇ それは

左の特長があるからです。

ライオン

刷きには

北澤太郎氏(政友)
出学大学ない、ソ聯は一人の友)
日から林毅しまるもの大性が一人の友)
日から林毅しまるもの大性が一人の友)

正なる行動について何等干渉しても帝國としては帝國の公とでは帝國の公とのでにかと

安富なることを明かにした、旨を説明、帝國の行動の公正

審的必要以上に出るもので軍 職化を目的とするもので軍 なくまた領土的野心から出 たるものでない

權益確保決議案

【頁二十刊夕朝紙本】

殘敵求め



英の兩海運會社

葉、衛生材料多數を鹵獲した・地雷十二、その他迫撃砲火

殊勳の西大條部隊

五時邱縣々城を占領した、引五時邱縣々城を占領した、引

設キ機

瀬緬公路へ

選の活潑化は注目に値する 対数では注目に値する

と雲南間の公路)

を利

金調達計畫は

雲南航

本事業費 ・大倉組及び入倉鑛業より課 ・大倉組及び入倉鑛業より課 ・受くべき株式並に投資 ・一七、三〇一

事

設準備中と英下

院で言明

大野山ル長平八大野山川へ一井出京

公路通過活潑

開發の工業化が意圖さ

立して開發に常

米内海相祝電 (東京関通) 米内海相代 (東京関通) 米内海相は十四 日支那方面艦隊司令長官ならびに南支海軍部隊最高指揮官 宛左の視電を設した冒海軍省 より公表された 三亜港附近の奇襲上陸に成 功し帝関海軍の威容を南海 の一角に顯揚せるを説する といるに の地に勇戦する ととするに の地に勇戦する といるに

りない

本人を乗せて一兩日の 造軍司令官

寫眞) 島攻略を機上より視察闘還した安藤用

だ盛んで産魔また體富である

その創立を見た、新會社は資 として大倉財閥の進出による 登起人會を開催し十四日設立 に關する登記を了してこゝに 度を見せてゐるが、その一つ のとしてこれらを歓迎する態のとしてこれらを歓迎する態ができる。 のとしてこれらを歌迎する態のとしてこれらを歌迎する態ができませてゐるが、その一つ をア

本金五千萬圓の 諸洲國音 迪法 人で 諸州國内における重要管 業に投資することをもつて目 的とするものであるが、 差當 つては從來大倉が 満洲國内に おいて行つて來た事葉即ち本 溪湖洋灰、本溪湖特殊卿、本 溪湖洋灰、本溪湖特殊卿、本 飛役氏名左の如く 新京大同大街の大興ビル 同ルと出

目己資金及借 一国以後の拂込金 一二、〇 一二、〇 一二、〇 1.00 0.00

第

司法異動 【東京國通】池田大審院長逝去に伴ふ司法異動は十四日左 の如く決定した 検事總長 泉二 新龍 任判事 市大審院長 木村 尚達 計 700 ユーデ小説 妻粉胡。

「石家莊十四日發國通」皇軍各部盤は冀中地區肅清の離果を更に擴大すべく引續き殘敵を求めて徹底和掃蕩を續行してるる一、須藤部除快速部除は十三日午前十一時郡村、冀縣西北十六キョン附近において民軍凡そ二千と遭遇、激戰の後これを西南方に擊退した、敵の遺棄死體七十二、自傷一人た、敵の遺棄死體七十二、自傷一人。 徹底的掃蕩續 地區 各部隊各地に快速進撃

海南島南端三亞 街占領

て蔣近

雲南間航空連絡開始につき左 野暖かはまず (機烈となつ ができューア・ヘッド印 野暖がはまず (機烈となつ が、十三日の英 関下院できューア・ヘッド印 が、十三日の英 関いないではビルマー

英國政府は過數審政府との 現在すでに航空連絡開始の 現在すでに航空連絡開始の ため種々準備施設か行はれ かってある

八 以 以 以 以 以 以

雲度國

し同六時四十五分には早くもその一部は三亞街を占領、感激の軍艦旗を飜は海南島最南端楡林西方三亞港附近に奇襲上陸を敢行、直ちに進撃を開始(海南島三亞街十四日發國通)十四日午前五時四十分海南島派遣太田泰部隊 英大使も外相訪問

く毅然たる態度をもつてこれに に とく 子・ご 脱合のものでな を受けるべき筋合のものでな ず、米國政府書局は依然これ の態度がどう動くかは注目をを受けるべき筋合のものでな ず、米國政府書局は依然これ の態度がどう動くかは注目をを受けるべき筋合のものでな ず、米國政府書局は依然これ の態度がどう動くかは注目をを受けるべき筋合のものでな ず、米國政府書局は依然これ の態度がどう動くかは注目をを受けるべき筋合のものでな ず、米國政府書局は依然これ の態度がどう動くかは注目を

(東京國通) タレーギー駐日 本省に有出外相を訪問、口頭 をもつて十三日のアンリー駐 日佛大使の質問と同様海南島 古領についての帝國の目的、 出間及び性質の説明を求めた に対し有田外相は佛大使

局を憤激せしめつゝある折柄 聯軍の不法行為頻發に日満當 議ソ西部國境方面におけるソ 哨狙撃を受 火もソ聯の不

西部國境吉拉林で

狙撃を受け、次で十三日午前 | 局においてわが歩哨がり聯兵の 事

同は最重監視中である中件が競生した、目下日鴻溢 (東京國通) わが南支派遺部 は、東京國通) わが南支派遺部 は上陸に成功した海南 と 東にあり。西は保平港を距た る百里、東は楡林港と山を距 て催かに六里で三亜、大坡、臨 西は長さ三百丈。南北は殿さなし東西は長さ三百丈。南北は殿さか、港外には暗礁多く港内は

第一期 第一回拂込金一

E 36

一、臺灣米穀移出管理特別會員附託、次で、政府提出二法律案を委員附託、次で日程に入り對ソ決議案を可 ・田拓務政務大官、さらいふ ・田拓務政務大官、さらいふ ・大ることはないか ・大ることはないか ・大ることはないか ・大ることはないか 本うなことはないか 一等うなことはない 一等うなことはない 一等うなことはない 一等方なことはない 一等方なことはない 一部信房氏(政友)臺 一等信房氏(政友)臺 一等の他の關係上臺灣と同樣 での他の關係上臺灣と同樣 での他の關係上臺灣と同樣 での他の關係上臺灣と同樣 での他の開係上臺灣と同樣 内農相田の際日帰安を連続の際日帰安を連盟を持ちる、政府の所日帰安を連連を持ちる。 所見如何 知力でも 知力で をで

後五時州八分散會 貴族院豫算總會

▲山田三郎太氏(會社員)同 本野口伊県字氏(電々社員) 大都ホテルへ 大都ホテルへ 大都ホテルへ 大都ホテルへ 大都ホテルへ 大神田県氏(同)同 本石村軍秋氏(同)同 本石村軍秋氏(同)同 一個県長氏(報島公司)同 本他田島氏(大倉土木)同 滿鐵幹今 田中清大郎 補東京整訴院長 村檢事總長 大審院部長 大審院部長 丁四日着京ヤマトホテ 山真三氏 (前交通部次 各教育をなしてみ 往來 霜山 精 雌士を兵隊 お仙でおみ 世に代表はみんな苦い。金行數夫 戦争小説は何が一番か・田村泰大郎 大學卒業生は何處へ行く・マール・オペロン結婚 大學卒業生は何處へ行く・マール・オペロン結婚 大學卒業生は何處へ行く・マール・オペロン結婚 と兵隊 チ金 夏 宇 デン語 川捕野 イバ樓の大物千 協同体の ンと春郎帳 誰の 淡曾 本護時常非ソタモ 原理。杉原正已 製作のはようならか。 の間・注入製用間は が、注入製用間は つ至に競響は女美たつなに軽蔑の策敗交外の頑某。在精力 細いの だた中 一曲よ のり

支援助は出來るだけ

たらそれでいゝのである。そ、環り得る質力をさへ持つてる

る蔣介石の愼重さと中央

ってゐるのである。この點、 が長 が と 関 民 黨 が 支 那 共 産 黨 勢 力 い 長 瀬 撃 し て ぬ る と い ふ 形 に も な け 撃 し て ぬ る と い ふ 形 に も な ま な に 動 民 黨 の 常 務 委 員 で あ つ て 、 こ 民 黨 の 常 務 委 員 で あ つ て 、 こ

2

0

軍部を刺戟す

返還要求

軍擴論に拍車をか

說

は感々近く植民地返還要求を 提出すべく、既に大規模の動 員が行はれてゐると傳へられ フランスの軍部方面は同報道 に異常な闘心を示してゐる模 然である、外交通ベルチナッ

軍縮會議招集せず アツ には動員計畫完了し略々百五 かには動員計畫完了し略々百五 かには動員計畫完了し略々百五 かには動員計畫完了し略々百五 かには動員計畫完了し略々百五 ル國務長官の返書

イフの領土合併による新情勢日調印された獨伊新協定はド

の御伊

新協定

チ外相と會議

(ワシントン十三日發展通) で著名なラドロー米下院議員 は最近ハル國務長官宛て書輸 を送り今夏或は今秋ワシント を送り今夏或は今秋ワシント

ト の機が熟してゐないとの理由ト の機が熟してゐないとの理由日 はこれに對して返書を發し現 はこれに對して返書を發し現 はこれに對して返書を發し現

る必要が存すると思はれる。しかし果してさらなのであらは行はれてゐるやらであら

しろ今回の國防最高委員會

今度の支那行で何をするか と云ふ事は今間かれても困 るが、戦後の復興が一日で も早ければ良いがと思つて ある、從つて英米佛三國が 提携して日本に經濟制裁を 加へれば戦争は直ぐ片付く なったとか又それに養成

務省より競表された サ氏上海へ

一端米中の上海のユダヤ人財 関互頭サ1・ツイクタ1・サッスン氏は十三日朝上海にに ヴァンクーヴァからエムブレス・オブ・ジャパン號に便乗 上海に直行する筈であるが、 上海に直行する筈であるが、

といなり目下調査員を派遣閉といなり目下調査員を派遣閉めるためと稱してゐるが、華めるためと稱してゐるが、華明の對策であること明白で又海南島占領により不安を豫を持たい。

理局長會議

勝頭松平議長 本命議は午前十

一前十時十三分開會

度厳相登壇財政方針に関し衆 で表心感謝の意を表し次で石

用し轉じて人造石油問題における油田開發の實例を

用を容易ならしむるため掛金でし、また本制度の一般的利の遺族に特別の給付を

梅便箋

貴族院本會議

七日まで審議續行

わが陸海軍は海南島を占領 に對し艦湖と祝賀の電報を に對し艦湖と祝賀の電報を に對し艦湖と祝賀の電報を

十一件を審議の後晩務大臣の出て、なした後日程に入り政府提出の改正法律二件ならびに請願

文打電を可決これに對し板語り滿場一致別項の如き感

電信電話サー

試務として嬰睛しつ▲ある ★時局は補洲農業移民を刻下 はずるに至ったのである、而一・

り、更に又農林省に於ては抵計量の半は以上を完成しつとある農村は現に存するのでもある農村は現に存するのでも

計畫を樹立實行することへし の施設を講じ之を援助促進せ しめつへあるが、現在既に全 が、現在既に全

(ハノイ十三日愛國通) 蔣政 に中央と相踵いで佛印に機闘 に中央と相踵いで佛印に機闘

を加へるものと見られてゐるならばその役割は一層重要性 海南島占

波蘭機關紙社

【ワルソー十三日發國通】ボーランド政府機関クリエル・ は電然だとして左の如く述 でした。 では高然だとして左の如く述べてゐる

西貢に交通銀行 開設準備を進む 「ローマ十三日愛國通」駐伊 ベース英大使は十三日キジ宮 にチアノ外相を訪問、スペイ ン問題につき協議を遂げた、 のでないが、パ

目下對支武器輸送はビルマ 力なる作機基が、となす事は 力なる作機基が、となって日本 がこの方面に兵力を集中するに決したのは常然である 高地線道から最短距離にある がはこれを裏書するもの古 面に大部隊を集中するものである がはこれを裏書するものである がはこれを裏書するものである がはこれを裏書するもの古 がはこれを裏書するもの古 がはこれを裏書するもの古 勞働統制に着手

三日發嫩通)北支經

ピルマ方面の原前による輸 対しては爆撃によらずとも 断にするもにこれを脅かす に充分である 新民會勞工協會

新京富士町二丁目

進めてゐたが、協議の結果左 の如き具體策を得たので近く の如き具體策を得たので近く 改進會の設置

年金事業制度の效用を大ならば大正十五年創始された郵便

郵便年金改正

マコ・スロヴァキアのルテニア地方議會徳選擧は十二日一 栗政府黨は有權者機数の九二 四パーセントといふ歴倒的大 醫學博士市橋貞三

西班牙避難民の のまでイタリー義勇 コ軍の政治的處理が 歸還を許

マインにおける人民戦線軍の 、インにおける人民戦線軍の 、インにおける人民戦線軍の 、大定的敗北とふもにピレネー には、フランス側においても を越えてフランス領に逃 では、フランス側においても をがフランコ政府は十三日 をがアランコ政府は十三日 をがアランコ政府は十三日 をがアランコ政府は十三日 をがアランコ政府は十三日 をがアランコ政府は十三日 をがアランコ政府は十三日 をがアランコ政府は十三日 をがアランコ政府は十三日 -フランコ政府公表-

らしい口振りを残したとか 素態を悪化するために支那 に行く筈はなく自分はもつ と建設的な気持である、上 を離れないでつた上でない と判らない

石避難民の總數は約十五萬、 局するとの希望を表明して續 場であるの希望を表明して續 政府黨大勝利 議會總選舉

剛委員會を設置、增強計畫を 府實業部ではかねて改良棉勸 「南京十三日發國通」維新政 改良案がる

電によれば、軍事委員長成都 行轅は奥地に追詰められた蔣 が四川中央化のために新 設したものである 維新政府の棉花

電事委員長成都 軍事委員長成都

探掘せられた

軍を撤收せずと言明したのに といはれる

申告を求め、

、統制導示を行 ・ 求め、規定による

團日出費數發 百二十十十八日

武運長人新願労々懐かしき武運長人新願労々懐御世話し頗る行く様御世話し頗る

圓間日

鴨綠丸

伍

が出來ます 電話長(2)と九七四番 電話長(2)と九七四番 電話長(2)と九七四番

十五分散會 十五分散會

電③2606番

第三十一回

巡拜ケ所 本、淺間溫泉、 本、淺間溫泉、 門司上 込所 伊勢參拜團

熱海溫泉、名古屋、奈 新京中央通 **座、奈具、高**鳴子溫泉、 、高野山、大阪、泉、松島、原築神

滿菊藤蒙 ホ地田

紙質優良 製本堅 大衆向廉價 學大洋和 其他紙製品 學ノ 封 習 帳 筒 各 般 帖 F 簿 種 本孝梅 式 探

つて郵便平金改正法律案を十 民的機運を助長する目的をも 民的機運を助長する目的をも

身年金を創設するとよもに軍の改正法律案は保證期間附終

外務幹令(十四日付) 企畫院書記官 大野 勝己 任大使館三等書記官 大関在勤を命ず 大使館三等書記官 大田 任名 武夫

集亞局第一課勤務を命ず

學士院恩賜賞 「東 學士院二月例會は十三日午後 三時より上野帝國學士院で開 偿されたが部會並に總會の議 機されたが部會並に總會の議 般を經で學界最高の榮譽たる 思賜賞、帝國學士院質等十四 京駅前·電

東京女子高等師範學校 東京女子高等師範學校 有別 一、脊候副交感神經に關する 研究

る謙

九 七 今次の委員の額

湖のことであり更めて故に論 対のことであり更めて故に論 知のことであり更めて故に論 極する處それけ二つの重要な る論點に要約するよどを得る が、窮 際状勢に鑑み、友邦諸洲國の 健全なる發展は極めて急務で あると云ふを得べく、之が爲 めには景國農民の多数の大陸 めには景國農民の多数の大陸 さいたました。

滿洲移民の分村計畫と農村更生 力は極度の小農の存在を餘儀の土地は開墾し遠されい剰さ

株主總會の席上に於る

富田興銀總裁演說

記録でありますが、要は関長の自有效なる活用を期して居るののののでありますが、要は関長の自有效なる活用を明して居るののののであります。 「當期中益な知道の智を取めて、當局の方針を體し各機關 整保權信託との公布があり、 「は年初來增加の一途を迎り、 「當期中益な知道の智を取めて、 「自己」とを整理を理解して、 「自己」となる。 「自己」となる。」。 「自己」となる。」。 「自己」となる。」。 「自己」となる。」となる。」。 「自己」となる。」。」。 「自己」となる。」。」。 「自己」となる。」。」。 「自己」となる。」。」。」。」。」。 「自己」となる。」。」。」。」。」。」。」。」。」。」。

で右り

鮮内米價調節に

對滿支輸出制限

書関係があることが判る場合 を大つてあるといふ状態で を大ってあるといふ状態で を大ってあるといふ状態で を大いとがより六十日)廣く利害関係があった。 をでき渡に加はることを得さ をして参加せる利害関係があった。 をして参加す立の機會を興へ はなことがに到して、 をでき渡に加はることを得さ をして参加する。 を得さを関いた。 を得さをできないる。 を得さを関いた。 を得さを関いた。 を得さを関いた。 を得さを関いた。 を得さを関いた。 を得さを関いた。 を得さをとがないる。 を得さを関いた。 を得さを関いた。 を得さを関いた。 を得さを関いた。 を得さを関いた。 を得さを関いた。 を得さを関いた。 を得さを得さを関いた。 を得さを関いた。 を得さを関いた。 を得さを見いた。 を得さを関いた。 を得さを関いた。 を得さを見いた。 を見いた。 をした。 をした。

滿洲國側對策を考究

をリザーブしつ」あったものであるが、更に之が完 を関するため今回の如く は、関連を行ふに至ったものと見られる。

右問題の解決如何は糧穀管社 の活躍に俟つもの」如く國内 米穀問題として今後の對策に ついては頗る注目されるもの

氣料金集金日 付て

又色んなもの 御を亘六でが

正 で二千軒から持づて居る事故 が、國都區域の樣に家のまば りのやうには到底夢られない りのやうには到底夢られない りのです、その點幾分倒不自由 な 放願つて、一つ宜敷御處理願 金 被願つて、一つ宜敷御處理願 の ひたいものです。但し突然の ひたいものです。但し突然の かたいものです。但し突然の かたいものです。但し突然の かたいものです。但し突然の かたいものです。但し突然の かたいものです。但し突然の かたいものです。

東安軍戦歿勇士 大慰 靈祭執行 大慰 靈祭執行 関軍部除の作戦或は討匪行に 関軍部除の作戦或は討匪行に 関軍部除の作戦或は対匪行に

大造林計畫

鐵道用材の自給に

滿鐵、

經費卅二萬圓を計

上

在最高百キロト 電、最低二銭近 をいが旅客運賃 をいが旅客運賃 ないが旅客運賃 市引下げが行は

土地審定法、商租土地審定法、商租土地審定法の改正は十三日の政正は十三日の政正は十三日の対立れたが右のである。 満鐵調査機關の擴充 大綱案決定す 本 村の自給を期し更に全滅鐵道用的の下に經費約三十二萬國を解氷期と共に全滅各鐵道局を解氷期と共に全滅各鐵道局を排出すことになつた、本年度植出すことになつた、本年度植出すことになった、本年度植工、財政工工、前桃、トネリコを主として總計一千五百六十五萬七千六百五十本の大量植樹でこのほか種子五千四百十リット

躍進の總局自動

車線

四千年

に達す

愈よ新年度より實施

総局自動車 総局自動車 数道總局所管全瀬自動車路線 道線局所管全瀬自動車路線

收入旅客共に激増

人妓と青年科學者の悲恋!戦魔に薦る名花り

近代母性育兒讀本

(四)

一、友達と一緒になつて遊戯

習慣をつけること

四、睡眠時間は十時間位にな一つ、一つできになる

関 男五二・九ミリ

必要です

制新国洲潮

五

獨りでうまく便所に行け

るやらにす

三歳から六歳の幼兒期

一、色の名がわかるやうにな

幼兒の發育 (三歳) 六、第二日齒が生へる ・精神及び身體 一、入浴、更衣、食事、手洗 る 等の正しい躾けを始めるこ

本、、 想像遊び等がよい 木、 想像遊び等がよい 木、 想像遊び等がよい

五、敷を算へることを始める が出来るやうになる

・四ミリ

などをさせること たる水摩擦、乾左 情はつけた方がと 情はつけた方がと でし歯に罹り見

布摩擦の習

二、左右の區別が出來る 一、同情心が現はれる

四、六才日戯は一生使ふ齒で すから注意が肝要です。 子供の應急手當は家庭で

ること

と遊ばすやう心掛け

デオ體操ン

よく注意し

うになる

の始末が自分で

男一七・〇五キャ、

女一〇四

動作が満足に出

が生へる

をしやすいから注意 助の結

(五才)

三、物事を知りたがつている」(なことを訊く

幼兒の競育は健康と躾

十五瓦、肉類五十瓦、脂肪三十五、肉類五十瓦、肉類五十瓦、脂肪三中の大りにはサッカリン、コーヒーの代りにはサッカリン、コーヒーの代りにはけった、更に砂糖の代りにはけった。

連載漫禹

オーフシャムロチャー

長崎拔天

五、獨

レナード

杉山八重子

時計臺の

き 杉山長谷夫曲 水朗詞

の鐘 高階哲夫作詞作曲 船 やよい

んは詩吟で當選さ

小江、

成作

北島 精響 上海

ものは全部切符制度としました、一人分の食量は食パンが一日に百七十八瓦、馬鈴薯一

病氣の處止むを得ない事情で | 気分も懸くないと申してすつ嫉致しません。夫が昨年の春 て、その後は膿も出ませんし が、まだ二度も姙 治療につとめ順調に治りました。極力
私は昭和十一年の | 過劇な運動を致しました爲睾

(答)

要旨より考察力炎と書

馬鈴薯その他食料と名付けるされたドイツ関内では早くかされたドイツ関内では早くか

睪

丸炎は不妊

の原因か

幸に感染致してはをりません

相

談

かり良くなつたと思つてをりますが、墨丸炎をわずらひますと子供が出来なくなると以前から聞いてをりますが、本當にもう子供が出来ないものでせらか、又如何に治療致し

· 泊天 草

佐藤 天香

正金:

· 衛武 大 作 を 作

詩

穀類の杜絕になやま

の統制

して我が國に生れた幸

を歎く主婦よ、その

ました、

(Pg)

海

短

ウインザー公夫妻が選髪して には、ウインザー公夫妻が選髪して には、ウインザー な夫人のボックスの前に進み 出て王豆の一員に對してだけ でか屈膝の種を行つて國際的 では、ウインザー

の平長なる夫人を王族として 迎へることには反對してゐる のでムーア嬢はヤンキー氣質 からこれに抗議する意味で特 に公開の席で屈膝の醴を行つ たものであらう

戰々成

の海軍航海

吟菊貞

朝三

お布令を發するにに行ふっ市内各劇場では舞

昭和十三年度演藝次 常選者 田崎 隆

夫人は未だ正式には王族室の一員に敷へられてる

舞台上の銃 (ロンド) 市民 (本民の職等に對する恐怖と響) 中間題を続る危局以來英國 > 中間 (本民の職等に對する恐怖と響) 大はその極點に達し國際關係

州氣の原因となる故と惹き起し現實に苦

=

日到った、

劇場樂屋の貼紙に

正氣歇

乃木希典作

生活難を歎 獨逸の大戰時に於る

物資統制振りを見よ

べき成分が髪の毛の中にも含 精人の髪の毛をむだにせぬや うに警告が發せられましたの で、切り落した毛や、抜け毛 は全部集めて赤十字社に届け は全部集めて赤十字社に届け

・ も多かつたと言ふ様に、實に その統制はひとすぢの毛に至 っ、化粧品が増脱で一割や二 ををうではまだ (非常時意 をするなどで、あはて るキうではまだ (非常時意

近代職争の最も顯著なもので、大戦當時の最も顯著なもの地質と素計へのさまた、 大戦 富時の交戦関の関係を照ることは増税、物資総制となるでせり、 我々はどんな場です、こゝに大戦當時のを戦闘の関です、こゝに大戦當時のが必要です、こゝに大戦當時のド この不足から、飢餓病になるもで、 傳染病で死ぬものも非常に多く、また身體 にの の抵抗力がなくなつてゐるのの で、 傳染病で死ぬものも非常 に多かつたものです △被服の統制

市中 第し、原料の代品として用ふた。 を回収し軍部に納めたのはも た、のを獻納して間に合はせました。のペンドル、其他あらゆるも た、ドイッ婦人は、かつては カチ 多くの裝身具を持つのを特徴 としてゐましたが、金指輪、 をしてゐましたが、金指輪、 をしてゐましたが、金指輪、 をしてゐましたが、金指輪、 V.

には姿を見ぬやりになつたので、紙や木の靴をは含ました ドイツは四面海の國でもない ので、水産皮革といふわけに

3 の番組「新京放震局」

講坐

九、〇五(東京)経済市況
九、〇〇(大連)朝の音樂

三、〇〇(大・新)經濟市況 一、槍さび 一、槍さび 一、槍さび 一、槍さび 一、槍さび 一、槍さび 一、槍さび

(二))博多人形 町田嘉章作曲 町田嘉章作曲 山本 続山 平井 恭山 変上 腐山 で井 巻山

K. 001

0

演

藝新

珊期

(中) 偶成 橋本佐內作四、俗曲 昭和十三年度演藝放 经新人募集

七、番=ひの 繪畵の (東京) 講演

ス・告知事項。今晩の 中野 政行

(東京) 經濟市況 (東京) ニュース (東京) ニュース (東京) ニュース (東京) ニュース (大・新) 經濟市況 率天) 演藝「鮮語」 率天) 演藝「鮮語」 本、OO(牡丹江) 子供の時間 コドモの(大連) コドモの新聞

京無線

九

1、詩吟
1、詩吟
1、詩吟
2新人募集
當選者 佐藤 天香
當選者 佐藤 天香
(イ)題烈士殉難圖
宮本三香作
(ロ)泊天草洋 (イ) 獄中作 常選者 北島 清

廣瀬武夫作

杉山長谷夫曲 曲ド子い

(イ) 江差追分 (イ) 江差追分 (ロ) 小原節 立、福唱 昭和十三年度演藝放 芸術人募集 営新人募集 営工ノ伊奏 山田不二子 ドアノ伊奏 山田不二子

十三年度當選者初演 ・ 見てるぢやないかネー してるぢやないかネー 病院船 長谷川素逝・作 大、三九(東京)時報・ニュース解説 ・ス・ニュース解説 ・明日の番組 「の、三〇ニュース再放送 「〇、四〇(哈爾濱)北隣の時 番五六八三③電 町枝ヶ梅街マイタ 博多人形 南弓尺八玲零による管核三重 胡弓尺八玲零による管核三重 一次の三部合奏で現すべき意圖にて 作られたもので、今日尺八の なる合奏で現すべき意圖にて 作られたもので、今日尺八の みの三部合奏として演奏を試 みの三部合奏として演奏を試 みの三部合奏として演奏を試 実化 (かんぎねた) (一) 晩秋の霜降る夜に於ける山里の静寂 (二) 肌寒き梢る山里の静寂 (二) 肌寒き梢のせょらぎ自然の樂に合せてなる (三) 月光静かに山野をなる (三) 月光静かに山野をとして夜のでいるとしむ里人の打つ砧の間ゆ。 博多人形 重の演奏 尺八合奏 後〇・〇二 一後〇・〇二 一部 山本 持續山作曲 一部 平井 恭山山作曲 一部 上本 恭山 できた。町の佐渡平山田 た井上井本章作山山山山曲 現代名士五分間



てゐる。

突は何かをひどく怖れ

恐れがありますか

器ではり、らつすらと山の影響をはり、らつすらと山の影が黒く映る。白樺の密林地帶に迷ひ込んだ嵐は雪塊を吹きちぎり、枝々をひき裂く……で、一次の狼の毛の帽子を通してゴウゴウと絶えまない怒號が聞える。小屋の煙突から風が吹き込んで膿々と煙立たせ

一九三九。一・八一明日は磯に出よう。

誰の舞篆装置でも變化の乏しのですが、屋簾の場になると

人の特色が出て非常にいる

は一一そして全く死女の面の一でうに資益と大いなの地平線がある――。僕はこの寂しさに馴れてゐる。あい。」「我を吸引して、僕の血管には異様なものが燃えてゐる。」とでもいゝ!僕の身に戦つてこい!月は今やらやく落ちかけた……赤く、呪は

が苦しく眼が痛む。

加ふるもの少し一北村識文郎「天守」

君が死んだと聞いた時は悲し如何に君とは仲が悪くても…

遊ぶんだよ かたんじゃ

思かつたんだらう

悲しく捧げる詩、私の詩無き君の面影を像びつゝ

鄉童

と、ぶつきら棒に言つて速から続るわよ」

元にお風呂に入つて

へ來てからすで

僕が剝す。山

何故か僕の眼を撃たうと

り、小屋の中を充して頭痛を整えさせる。時々、屋根雪が発えさせる。時々、屋根雪が再をたてるが、またすぐ眠り入る。

僕は深夜山小屋を出て見る

津

り明るい。嵐がその白い姿で を渡つてゆくたびに、蠟燭の が渡り、光芒が細やかに顕 へる。毛皮の匂ひが温氣と交

記

では年代子! まだ慍つて るのかい? 僕の悪い所は改 めるから言つておくれ、ね」 「……悪い所つて無いわ」 普段の彼女ならその儘閉捨 てる筈だが、先刻から妙に 息苦しい墜迫に悶えてゐた千 に見っては、皮肉な微笑を浮べな

いのだよ」 た煽情的な紫煙が思ひ浮で速夫の蹇韻の方に流れ

ものじやないの、やりきれな貴方の毎日は新聞と饗寢位の

たらどう

製作過程

舞台装置

も少し

速 してゐる。千代子は惹かれる

新一人になつてみたらと まらない文句の繰返しに

と、らはつゝた墜で言つた と、らはつゝた墜で言つた 夫の蹇である隣座敷の方へ立 「あのね、勢れてるだらうが、今夜お前の…が欲しい のだけど」 「貴方は今迄そんな事考へ 「ふん!何も泣く事なんか」。 ないじやないの!」 思ひきつて自分の心を蹂躪 也良い落付きを感じて右の目 を閉じたり、日を力一杯切い たり、舌を出したりして、無 たり、舌を出したりして、無

あらかじめストック内の品物を熟知して、出來る限り有物で既に出來てゐると云ふ芝居語)の利用に心掛けます。上述の如き考へなしで設計すると一寸二寸とわづかの差の類似品を灤山作ることになり不經濟のいたりです。舞台に於ては六尺の扉も六尺二寸の扉では六尺の扉を一寸。

を使用しすぎて、まつたく意 は便利にまかせてあまり常式 は便利にまかせてあまり常式 は便利にまかせてあまり常式 四寸、中足二尺一寸、一二重の寸法なり(常 作つてゐます。そして多分せの變化で相當種々の場面 があります。 尺八寸)屋台の寸 (常足一尺

れた舞台機構をもつてゐる関場はないのですが、背景、道場はないのですが、背景、道具のはなはだしいものになりますと、十年も前に描いたやちな破損した場だらけのものを、どんな種類の芝居でも一年一日の如く、おくめんもなく使用してゐることがあります。最も大低の劇場の大道具で、最も大低の劇場の大道具 この國では本格的な整備

す。最も才作の見たいなかない。大道具師達としては古いめを何回も使つた方が儲かるの、大道具師達としては古いめを何回も使つた方が儲かるのである。 で表さまつてみると馴どの、某々カフェに行動どの、某々カフェに行動という、というではこれで大尉の服を着て成張り ▲ ところがこの大成張り ▲ ところがこの大成張り 本 ところがこの大大成張り 本 ところがこの大大成張り 本 ところがこの大人は俺ところがこの大人は俺ところがこっておさまつてみると馴どの、 ま々カフェに行っておさまつてみると馴どの、 ま々カフェーを見いただわ…」でなり、 な、藤川さんでせう、ね、藤川さんでせう、ね、藤川さんでせう、ね、藤川さんでせう、ね、藤川さんだわ…」でなり、

髭を生やしげな 藤川研一、 藤川の野・

こせて、明るい鏡面の中の幾 分細面な額に、捨鉢なそして 空虚な光りを持つ瞳が、生汗 の浮び上つた額の後毛を如何 にも輕蔑しきつた色で見つめ で動かない。そして、こみ上 な熱いものが、それて、こみ上 古の三面鏡を思ひ浮べさんがらがつた感情が、ふか熱く身にしみて、何や

提りつめた嗚咽が、自己嘲 と 解を我慢してみたり、繰り返 に、相模離の海鳴りが多の夜 に、相模離の海鳴りが多の夜 と は 不 は で な た して な た り する そ の 合間 々 な に 、 相模離の 海鳴りが 多の 夜 して み た り する そ の 合間 々 な に 、 相模離の 海鳴りが 多の 夜

りますが、非常に値が高くなる)又窓枠の巾を中まえ(巾) 一三寸)の幅で間に合せれば經濟であるのに、それ以上の幅 が役者の演技上に非常に影響 すれば兎にかく、さほどでも ない時は材料の都合で多少の

来てもい、と考へてゐます。 しかし經濟的立場から云へば 利用の多く出來るもの即ち扉 とか窓とか手摺とかいつたも のに土豪となるべき常式が出

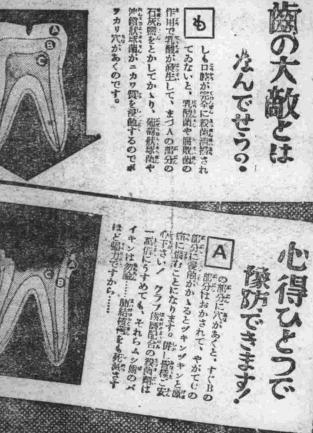
全然新しく設計する場合に 於ても使用する材料の大きさ 対法を熟知することにより材料と手間とを節約してゐます 二間迄の高さの張物なれば 材木をつがないで出來ますが 三間になるとつがなければな りません(三間物の材木もあ

人なければならないからです。 張物を作つて公演毎に枠かってのです。 來るやりに二つ折等に蝶番を 科醫院 新京中央通 何回もの公演に することが出 が上 ■ 単純に事を運べ ・ 単純に事を運べ ・ 単純に事を運べ 女女女物 續切小說機雷爆破決死隊 軍業生活の思る出 整坊っちゃん 赤ン坊と兵 火の匂ふ唇 叱られ日記 の無 大いなる 春の資 春の 銀色舞 戀の寝 日日 篇 語

平寸 動物會 春 麻峯山 久 片 山 尾 福 長松川柳永 退見太我 櫻風 生太中元米 鐵岡莊岡士崎恭永 仲谷太口太井 至話 助 郎 亭豐 郎 一 兵 八 郎 助 川郎 郎 豐雲

> 劑 菌殺力 强 の許







ムシ歯、歯槽膿漏しらずのピチピチごした健康体をつくりだす 栗理作用でガッチリぬグキや口腔を 強化してからりますので、 けあつて配合の強力殺策劑が齒のいかなるスミズミまでも途透 の健康を触むバイキンをすべて死滅清掃します。その上輩力な クラブ協薦は八大事質特許を應用してつくられた、楽理的協層だ して、ムシ歯のバイキン……や、歯グキを化膿させたり、身体

乗切って下さい! 皆様は殺菌力の強い薬用歯磨をお使ひにな つてるらつしやいますか? もなくしていたがき、ハチきれんばかりの健康で非常時局を 題ではなく、ひいて全身の不健康を登得をひきおことは、たい軍に口腔の衛生だけの間 します。この際、皆様の口腔から一本のムシ歯たり



H-76



用で健康に



消化不良(張村等)青便(蘇斯)吐乳(既) 熱(原因の利) カン虫氣





局 和の常舗

慰問袋には、勿念 も論の



しかも、本年の蔵胃は悪性です がはすることで、 分にすることで、 分にすることで、 ・サフラン、ホルモン、サフラン ・サフラン、ホルモン、サフラン

を、常に必携して にかるこ云ふ、 心構を確示する ここが、この際 に於ける最肝要 に於ける最肝要

呈進附添に銭十五丹仁粒銀

仁丹の 《体育容器



仁丹の 防共容器

呈進附添に銭十五丹仁粒銀

この際、この
「防共」精神の徹底化に邁進する、
「防共」精神の徹底化に邁進する、
の關心を喚起して、重大國策たる

總代理店 東京・大阪 株式會社 玉

の家庭常備薬です

-

(t)

皇軍佈告を讀む海南島良民

本が出来でも、恐の縁の變ら 型が出来でも、恐の縁の變ら の操を誇る大和撫子愛用の雛 大理機にお姫線、たぶし値段 だけは物質騰貴時代の足並み だけは物質騰貴時代の足並み

を言ふところが、と言ふところが、と言ふところが、

軍事援護會から

審正前の肉需用増加に一儲けた。 をたくらむ好商へ鐵槌一待たる」書正も後数日に迫つたが、 最近富正準備に牛、豚肉の需用は一段と増加しつ」ある折 所、儲けはこの機とばかり市 で工售暦二十三日以後の豚肉の販賣値は繁祭の認可値段リケーには一等品で はないと言ひふらし、警察の はないと言ひふらし、警察の

具統制懇談會

又鐵道研究所は新に鐵道技術 研究所と政務、調査役若干名 を置き従来擔當し來つた純然 たる鐵道技術方面の調査研究 に邁進すること」なつてゐる

けふ關係者集合開催

銀嶺に工條のシュブールを描いて捲き上る雪煙の中に快むを呼ぶ、寒國ならでは味はへやすインタースポーツの華スキーの醍醐味を國都人士に確実させるため、新京驛、ビューローでは來る十九日京吉線上側嶺スキー祭参加團體を募出した。

千父母では東京國帝

戸籍未了 転 歿 は事實上

一路 大子 に 給付金 関語』 恩賜財團即人養 関語 と いいら戸籍上の 妻 に から戸籍上の 妻

ま物價の全面的暴騰に生活不 の住宅難は益々深刻さを加へ の住宅難は益々深刻さを加へ の生活上大なる脅威として市民 の生活上大なる脅威として市民 の生活上大なる脅威となつて かては過去しばし、独和策につ

の1今日まで何等具體化せず解決の曙光を見出すことが出来なかつたが、現下の家質はさらに高騰の情勢を示してるのに鑑み、關係當局に於ては對策稠立の急務なるを痛感は對策稠立の急務なるを痛感があり、經濟部商事科が主催となっ、経済である。

目指し全滅殺道陣營の戦時體制化を 粉調査委員會は、いよ 〈來 を期せんとする鐵道陰局業 る計日總局において所催、同 で委員會業務調整案起案者決定

来中であつたが、成案を得た といなり、恩給扶助料その他各種の といなり、恩給扶助料に進る といなり、恩給扶助料に進る

蚁化團體

民族協和 満洲國人の習性は斯くなり 協和會宣傳に乘出す

地からみた傷合非常な悪影響 地からみた傷合非常な悪影響 を及ぼす結果となるので協和 繁作法、生活の様式等簡単な 知識と旅行上の注意を授け、 上記の如き悪影響の防止に乗

相當する軍廳、職務するもれ電子の要綱左の如し

民衆と共に前進

對政府連絡代表者懇談會終る

民生部大臣文藝賞最初の受賞 作者懸史小説「福昭創築記」の 作者穩度小説「福昭創築記」の 年本及位主四日午後二時から民 度式は十四日午後二時から民 生部大臣室で擧行、受賞者穆

護近く實施すること」なつた

より認可値で販賣するやり戦 貴なく獅野處劗の方針でゐる會に集合せしめ、趙保安科長 の場合は暴利収締令を以て前乗り出すこと、なり、十四日 れ等不正奸商の摘穀檢學につ乗り出すこと、なり、十四日 れ等不正奸商の摘穀檢學につは捨ておけぬと厳重取締りに 重示達、さらに各署に命じこ

首警保安科の怖い眼光る

7後は適時政府に於っいて種々協議を進

正待つ

人人々

於 長に 員會

同署が去る十日檢學したモ

然し端しなく

多、文書課、人事局各代表より成る起案者は十五日午後右に調する打合せ會を開き原案について種々下審査を行ふことになつた 日を期し · 三三五、棄 邪戀逃避行 スト 棄權三三二

寸待つたと赤信號 - 朝鮮成鏡 邪戀の逃避行に四道街署が - お家の法度を犯す半島人男女 ップ

北道院城郡美浦 農業朝京元(G 会玉附(二二) 判職金炳湧 (二三) と去 関京元 (四一) の若き妻 関京元 (四一) の若き妻 を成都美浦浦豐江洞居住 関が、 (四一) の若き妻 ロを割らぬ雨名に にその本據を突き 係では俄然活氣づき、徹底的するに至つたので、同署司法

交通調查部 鐵道總局調查局 協會理事、前田電々放送部長、 山協和會中央本部實踐部長、 大塚新京音樂協會主事等出席 最社會司長の挨拶があつて杉 村餘衡委員長が詮衡經過を設 明、大臣賞の授與を行つたの ち孫大臣授賞者穆氏の今後の の辞を述べ實、三浦兩來賓の の辞を述べ實、三浦兩來賓の の辞を述べ實、三浦兩來賓の 門擔當

賞金授與式舉行

人臣文藝賞

の市内猛家 の市内猛家 の市内猛家

馬車 客御難

自動車と衝突 一七〇號車を運轉、大經 し清明街に向つて豐樂路 ら清明街に向つて豐樂路 ら清明街に向つて豐樂路 の光証、正面より進行中 つた折、正面より進行中 つた折、正面より進行中 つた折、正面より進行中 つた折、正面より進行中 つた折、正面より進行中 つた折、正面より進行中 つた折、正面より進行中 つた折、正面より進行中 つたが、正面より進行中 つたが、正面より進行中 つたが、正面より進行中 つたが、正面より進行中 つたが、正面より進行中

来京の上、市内北大街西十八 大大であたが、十四日はるか、 造を隠れ家に、姦天金は東三 人であたが、十四日はるか、 としの脚を追つて来た夫趙の訴

るこ

査の結果 III 二人の所在を突き止め、綴の道行まかりならぬと召喚、平岡司法主任より は大の下に

大連か

6

0

特價

瑞西製提

時計計

大連の近江洋行特選品揃ひ

町速浪市連大

彼女の背後 の影

記念の御喜びの思ひ出に特におすすめいたしますきれん。およろこだもでになる高級な時計を卒業記念、入けんろうせいかくほしようもうしあくからきなとけいそつげふきねんにゆう

値数は總て運賃開稅弊店負擔の正味新京着値段でございます。

密造團 モヒ を賣る婦人の取調進む

帝賣容疑者市 奉天發展に備へ か設置 市政審議會

場所

場所

市内目放のお

◎ 銃後の貯蓄は

衛生隊に動務する官吏であり さらに年齢の相遠と共に二人 がある監等から推定して彼女 がある監等から推定して彼女 な大ものが潜んでゐると睨み な大ものが潜んでゐると睨み 夫大川健二=假名=が某官 宮川は昨年八月以來 を決定する省政会議には「一大の政策に関係へ今回於田新部市 であるが、同僚をを練してあるが、同僚をを練してあるが、同僚を決定する省政会議により省の大力 であるが、一大の政策により省の大力 であるが、一大の政策により省の大力 であるが、一大の政策により省の大力 であるが、一大の政策により省の大力 であるが、一大の政策により省の大力 であるが、一大の政策により、一大の政策によりを表示を表示。 一大の政策により、一大の政策により、一大の政策により、一大の政策により、一大の政策により、一大の政策により、一大の政策により、一大の政策により、一大の政策により、一大の政策により、一大の政策により、一大の政策により、一大の政策を表示。 一大の政策を表示。 一大の政策を表示。 一大の政策を表示。 一大の政策を表示。 一大の政策を表示。 一大の政策を表示。 「一大の政策を表示。」 「一大

ます
右御照會の方は電話③二九三八番へ御願し
内地歸國の爲至急讓し度り但し電話付
入職日報貨店

住宅を求む

在

診探時間

ントゲン科

次回後収扱店

電話③ 雪点 四点

押收したモヒと宮川から押收住半島人金奉學(四九)から密賣現行犯入船町三丁目七居 ヒの包紙が偶然にも一

是非一度御試食

を始めました

家 舍 田 横木井線町野吉 五二八六 ③ 電

時八後午―時九前午 診休後午日祭曜日 ず非にり限の此は思念

腔

外科

般

光線療法科

ニルビ陽宵目丁三町設 番八七八四(3)話電

限ひます

ルルモン

駐スペイン海洲帝國公使館理 事官松村寛氏は十五日午後六 時五十分發列車で離京に決定 村四日午後挨拶に來社した、 氏は上京の上來月下旬頃赴任 の途に上る 松村駐西理事官

においいます。 電話を増設 外所では では話事務の輻輳 がいを整へて電話事務の輻輳 が行シー ・新京案

し、更にこれを阻止せんとした學友岳劍平(當時二二)をお殺害した滿洲國熱河省出身當時明治大學高等專政科學生財雨沛(三二)にからる殺人事件の控訴審は、東京控訴院垂水裁判長係で審理中のところ、十四日午後三時半前審通り懲役八年(未決通算六百五分数役八年(未決通算六百五分数役八年(未決通算六百五十日)の判法言渡しがあつた ズンを整へて電話事務の輻輳を緩和するために新たに左記 電話を増設した (3) 五九八八(3) 五九 八九

瞬で参加團

體を募集

列車で歸京の豫定である

甘雨沛懲役八年

△ 敷島高女音樂會於同校午後 一時 △ 松村駐西公使館理軍官出發 午後六時五十分 (十五日)

四、

三

=

なでつけてハリキッてゐる▼ かひげも再び たひげも再び たひげも再び 70 20 お、この頃す つかり男ぶり をあげてゐる

料亭開花

を接り人の子、いぢらしき も矢張り人の子、いぢらしき も矢張り人の子、いぢらしき も矢張り人の子、いぢらしき だらうと思つて打診してみるこの變化は一體どうしたこと

を提出、これは宅 人れる穴をあけ厳 人れる穴をあけ厳

のろけ箱寄託 餘圓を關東軍へ献金 新傷交通部次長 新交通部次長派野教夫、前次 長平井川貞三兩兵は十四日更 には十七日致「はと」で離 が、といか。 電病院慰回に鉄後の繋賊をづ として納入の手續をとつたが 同家では支那事變勃發以來、 関防獣金、恤兵献金、或は陸 、一錢銅貨二百八十三枚、五錢二十三









非常時局下 國策線に沿

古タ を新品タ ふて イヤヤ

御用命を願上げます。野童を開始しましたどし等しい再生タイヤーの販賣を開始しましたどしせる一回燒再生機を以て諸タイヤーの修理を新



新京自動 新京自動車株式會社新京特別市羽衣町二丁日二番地 再生タイヤー

、チューブ修理、中古タイヤー再生並修理、中古タイヤー手生並修理

電話③二九八九番

は数歩づつ

と渡土たちは追ひ路めて「お女中、

は数がづつ漢のいて行く。それに数がつつ漢のいて行く。それ

お銀の位置

蔵が、味ガか。

武士は、対観のそばまで行くと、

仇名のある女とは、

魯

すると家の様、お戲は、

れてしまつた。既から死た者も東 さつて、爰もと見物ときめ込むよ 復選の旅客の足は、一時場止めら 整開のこととて、この年間で、 れてしまった。町から 上に辿って行くのだった。 地獄で佛の賞びが、どんなにおからさいやかれた。

をかに長七郎君の個仁徳を繋ひ、 不遇の御身の上に御同情を明上で 次してお跳ひなく、 そなたは先へ。奏組は次



が 魔 も の でが、最初な優 も の 機 を がびとめた、彼の怪しげな 町人 彼の男は、爾里で観を押へて、 その女に、こんな隠し皺があら 能もが思い設けないとこ 三百六十三 岩。殿。 金 際のお飯と だから、此ところ、暫らく休殿 る所を、飲めてわるより外は無か 「なぜ、勝手に通行する!」と行 はその武士の代

円頂アフターローショ 顔 常

武出



はとFンミタビ





合配薬貴高 **発師さンイロペス**

蒙賣元 東亞樂園 総大王の四〇一五番

七百感氣管 支流 東管支性(対せから 主治效能 性(から起る)



快的明治一服,頓和回於一 カンパン 製箱 工場 製箱 工場 製箱 工場 製箱 工場 古物 丸八 商店 場所二八一八種3六〇四一番 等点人指明 電3四五〇一番 第二八 一八種3六〇四一番 貸自 愛大力 2様ン 動車車庫 水道設備あり 水道設備あり ラ修理 **公** 紫雲社

印 一友社 張帳薄 163三四二四

お

白金·金銀高價買入 横濱屋質店 東二條通二十五郡 全額第四七十四番 前京まで前

電話金融

トラック に依る 東京特別は及事業土木和の人電 最重数の単領人のの単領有 大和運輸公司 大和運輸公司 大和運輸公司 海專門 一笠町三ノ九 安斯、 朝日通今四五朝日通今四五 白米各地產 芽 撫順、新京産

帳音

堂製本所

タイプ印書 膽寫・八書 篇3二三人七

大船町四丁目立 一 心 堂 コニュー 心 堂

トラ

工事材料運搬の個別は

刻はあんま

乾寫眞機店 1111九O

中央通り 大型の記述を表現では、大松接骨院

はゆつざ

新京吉野町一丁山お茶道具はお茶道具は お茶と

日本タイプ综合教授 日本タイプ综合教授 所 新州直賣所 新洲直賣所 電2四四五二 電2四四五二 電2四四五二 電2四四五二 電2四四五二 電2四四五二 電2四四五二 電2四四五二 今辨慶整骨院 電等五三六一番 はゆつざ 國産ミシン!

されば忽ち明らか!

ぐれた性能は御試川下

タイピスト雑 眉

伽宴会は

氣便



か月 路運賃二割引、運用期間三 が月

電話及金融 融即時・長期秘密

(制用の方は) 荻本電話店 黄京入舟町一ノニニノニ

2 大阪商船出帜

門司、

^林丸 戸行

鍼灸 市光堂療院 市光堂療院

多物大見切 豊質店 三笠町三丁目一 電3二七七七番

海奥川二丁目十八番地 東東川二丁目十八番地 開 節 炎、神 經 缩病 特効薬安心散 京國産家國産 シンも質賞します

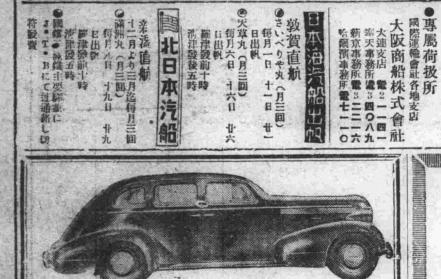
住 古 勝 也

三笠町三/廿七公會堂裏

祭曾胡同一〇一

カタログ進品

日本タイプライター株式會社 新京朝日通八十一電話③3338



親

切。

亞 二五二 . 四二五二 ②電 建家家店 式作繕造

長岡 は建 ゼ具 T 00 信 長御 木工所 用 岡注 あ へ文 3 店

店門專作製品文注

及法律顧問 問事 辯律 護 士師 般 法 別 律 務 之

話日③通二二八五 事 八番 五地古

電朝



· 益

商店の御用法 カネタ製麺麹工場 御用達 ラ



ダイヤ街(永樂町) 日 ③ 三六 三七 九七 一 季季 支